



水害から2年—災害に強いまちをつくる ……	2~5
小・中学校、保育園規模適正化 校区説明会で聴いた皆さんの声 ……	8~13
FlashNews (まちの話)	14~15

きずな
絆からはじまるふるさとの復興

足湯で交流を深める

6月26日、奥海集落で地域住民と神戸学院大学の学生との交流会が行われました。

この取り組みは、一昨年の水害以降、町の復興支援活動を続けている被災地N G O協働センター(代表:村井雅清さん)が、奥海集落で進めている「次世代・世代間および都市と地方間交流による災害に強い森づくり」の活動の一環。学生たちは、安本文男さん(奥海)から間伐の必要性などの講話を聴いた後、奥海クラブに集まった奥海集落の皆さんに足湯とマッサージを提供し、お互いに交流を深めていました。

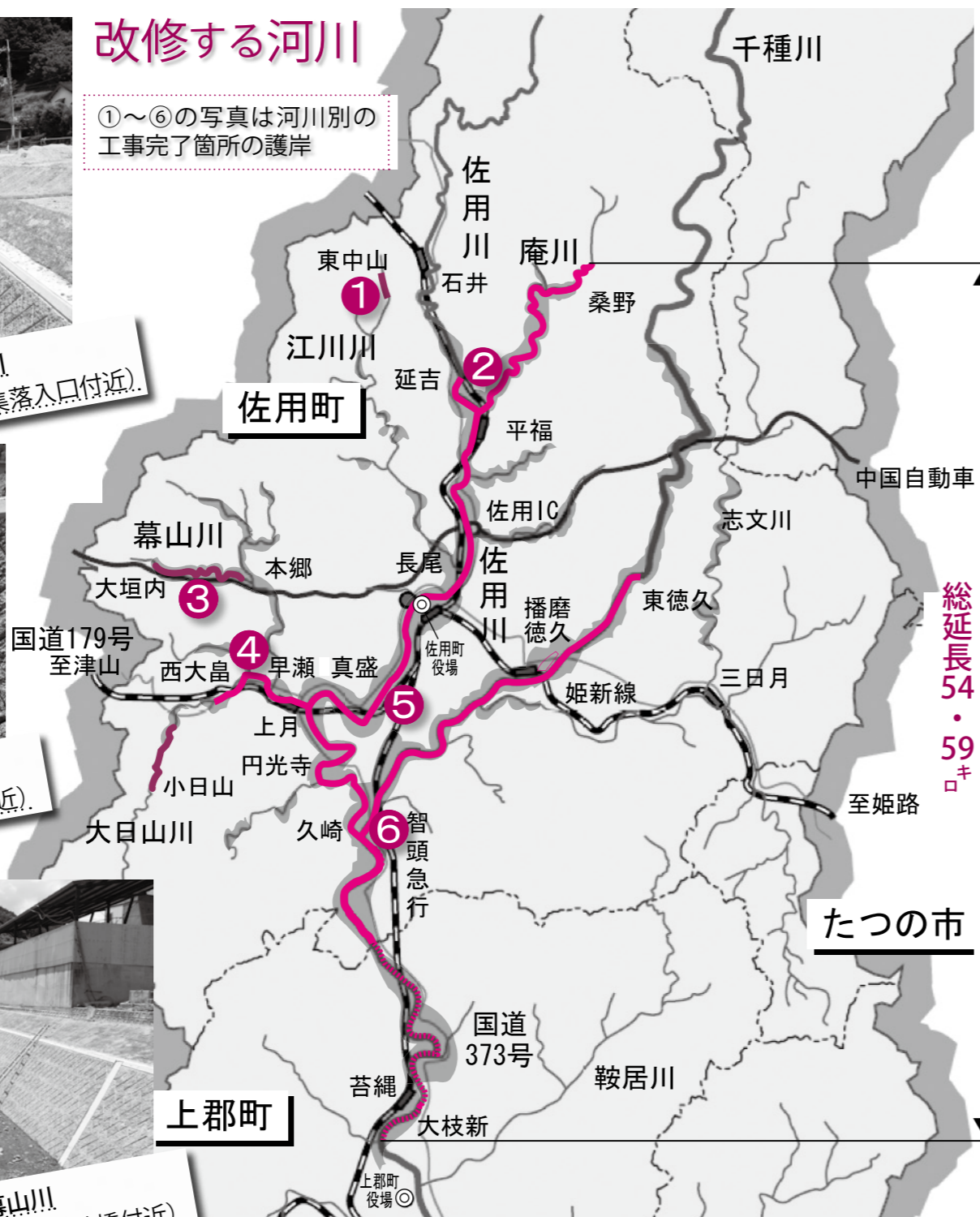




① 江川川
(東中山集落入口付近)

改修する河川

①～⑥の写真は河川別の
工事完了箇所護岸



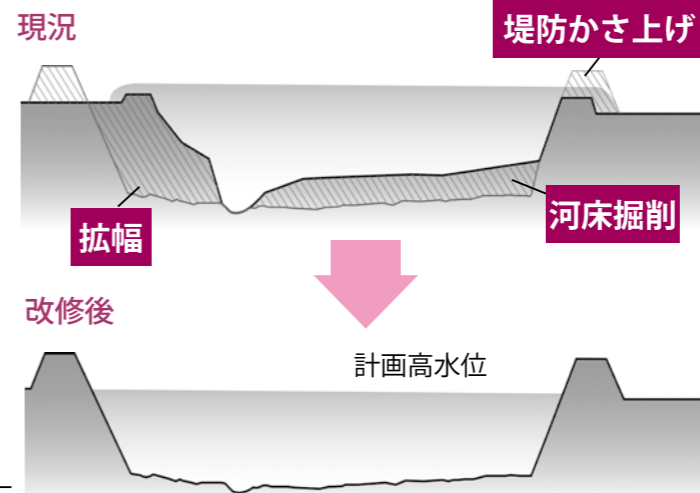
河川改修
自助
共助
公助

平成26年3月完了予定

進む河川改修

兵庫県は町と連携し、昨年11月から本格的に千種川水系の河川改修工事に着手。総延長54・59kmのうち、用地買収が完了した地区から順次工事を行っています。7月1日現在で、護岸整備延長の約4割の工事を発注しました。工事完了は平成26年3月の予定です。

改修のイメージ



場所に応じて3つの工事を組み合わせて行うことで、河川水位の低下が見込まれます



⑥ 千種川
(久崎駐在所付近)



⑤ 佐用川
(山脇：浜河原橋上流付近)



④ 大日山川
(須安：和田橋付近)

水害から2年— 災害に強いまちをつくる

— 昨年の台風9号水害から今月で2年がたちます。現在、災害に強いまちをつくるため、地域では防災マップづくりや災害時要援護者の避難支援など、自助・共助による取り組みが進められています。また、安全安心の生活基盤を整備するため、千種川水系の河川改修工事など、公助による取り組みも進めています。今月号では、工事が進む河川改修の進捗状況などについてお伝えします。



完成予想図（イメージ）

建設が進む現場の様子



町営久崎住宅建設
自助
共助
公助

平成23年12月完成予定
2階には一時避難所を併設

町営久崎住宅建設 工事に着手

鉄筋コンクリート3階建てエレベーターを完備

佐用川の河川改修工事に伴い、町営久崎住宅の建設工事が始まりました。新しい住宅は、鉄筋コンクリート造りの3階建てで17戸あり、エレベーターを完備。また、ひとり暮らし高齢者や家族向けなど用途に応じ、1、3LDKタイプの間取りがあります。

2階には避難所を併設

建物の特長として、2階に一時避難所を併設しました。避難所は、平時には、集会所として利用し、災害時には、地域の住民の皆さんが避難所として利用できます。

完成は12月末予定
空家は公募を予定

住宅の完成は、12月末の予定です。新しい住宅には、現在の久崎住宅と仮設住宅にお住まいのかたが入居する予定で、空家は公募する予定です。

問 商工観光課定住対策室

☎82・0670

町営住宅入居者
募集（登録制）

■入居募集住宅

■佐用町営住宅

※ただし、米田、折口、手布住宅は除きます。

■書類配布・受付期間

8月8日（月）～9月9日（金）

■入居資格 国税・地方

税の滞納のないかた。同居する親族のあるかた。結婚予定のあるかた。現在住居に困っているかた。収入基準に合うかた。

■収入基準 お問い合わせ

してください。

■家賃 所得や入居される住宅により異なります。

■敷金 家賃の3カ月分

■申込書類 商工観光課

にある申込書に必要事項を記入し、入居をしようとする家族で、所得のあるかた全員の所得証明書と納税証明書、住民票を添えて申し込みください。

■選考方法 資格審査後に町営住宅入居者選考委員会にて決定します。

問 商工観光課定住対策室

☎82・0670

7月1日現在 河川整備延長の 約4割を工事発注

工事の進捗状況などを光都土木事務所河川復興室の今中治夫室長に聞きました。

現在、兵庫県では光都土木事務所河川復興室の職員66人体制で、河川改修事業を推進しています。河川改修計画は、地権者や自治会などを対象に説明会を行うなど、皆さんの意見を反映して策定しました。策定後、地権者と用地交渉を始め、用地買収が終わった地区から順次工事を発注しています。

7月1日現在で、護岸整備延長の約4割の工事を発注しました。また残土処分も、関係者の皆さんの協力によって、秀谷地区や延吉地区などから順調に整地を進めています。

用地買収が完了した地区から工事を発注



円応寺の現場で進捗状況を説明する今中室長

町内13カ所の河川監視カメラで増水状況を確認

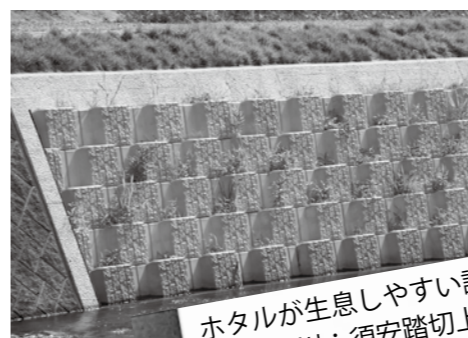
町内の河川に河川監視カメラを13カ所設置し、その映像は増水時に佐用チャンネルやインターネットなどでご覧いただけます。降雨によって河川の増水が予想される場合には、参考にしてください。

11月から工事の最盛期を迎える

河川改修工事は、今年11月から最盛期を迎えます。工事期間中は工事車両の通行などによって、町民の皆さんにご迷惑をおかけしますが、佐用町の安全、安心のため、本工事に対してご協力をお願いします。

環境に配慮した護岸整備

大日山川、幕山川、庵川では、ホタルが息しやすい護岸整備を進めています。また、すべての河川でアユやオオサンショウウオなど、魚や希少生物などに配慮した護岸や魚道の整備も進めています。



ホタルが息しやすい護岸（大日山川：須安踏切上流）



魚や希少生物に配慮した護岸（佐用川：吉福橋下流）

河川別工事進捗状況

- ①江川川（東中山／延長＝0.79*㌦）
約6割の区間で工事を発注しています
- ②庵川（平福～桑野／延長＝7.00*㌦）
すべての区間で工事を発注しています
- ③幕山川（本郷～大垣内／延長＝2.77*㌦）
約7割の区間で工事を発注しています
- ④大日山川（上月～小日山／延長＝5.15*㌦）
約6割の区間で工事を発注しています
また、環境に配慮した護岸整備も行っています
- ⑤佐用川（久崎～延吉／延長＝17.91*㌦）
約3割の区間で工事を発注しています
- ⑥千種川（東徳久～上郡町／延長＝20.97*㌦）
用地買収交渉が始まった段階で、工事発注は全区間の1割未満です



東日本大震災義援金
ご協力ありがとうございました

総額
1,828万641円
を送金

東日本大震災直後から6月末まで、町民の皆さんをはじめ、多くのかたにご協力をお願いしていました義援金について、このほど第2次分として47万9,171円を兵庫県義援金募集委員会へ送金しました。

お寄せいただいた義援金は、第1次送金分と合わせ、総額1,828万641円となりました。

皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。

問 会計課 ☎82-0663

コンサートへのメッセージを募集
レクイエム・プロジェクト in 佐用町



昨年11月から町民有志が合唱練習を重ねているレクイエム・プロジェクトでは、町と共催で復興支援コンサートを開催します。

プロの音楽家による唱歌や、佐用町をイメージした新しい歌、そしてオーケストラとともに奏でる鎮魂と希望のレクイエムを、ぜひ会場でお聴きください。

また「災害から2年 大切ないのち、そしてふるさと」をテーマに100～200文字程度で、追悼または未来へ向かう希望あふれるメッセージを募集します。

メッセージの送付先や入場整理券など、くわしくは配布するチラシをご覧ください。

問 生涯学習課 ☎82-3336

入園グッズで東日本被災地支援

今後も継続した支援を

県立6高校が活動報告会



今後の支援について話し合う生徒たち

7月12日、東日本大震災で被災した子どもたちに入園グッズを送る支援を行った家政科のある県立6高校の生徒たちが、活動報告を行いました。

報告会には、佐用、山崎小野工業、西脇、社、松陽の6高校の生徒約50人が参加。生徒たちは、分担して通園バックや弁当袋、防災座布団などを手作りし、100セットを石巻市と女川町の避難所へ届けました。

その後、生徒たちは今後の支援について協議し、これからも継続して支援することを確認しました。

- **東日本大震災 復興支援シンポジウム**
内容 関西学院大学教授 室崎益輝さんの基調報告
パネルディスカッション
■ **会場** 文化情報センター1
■ **時間** 午後2時～午後4時30分
- **ふれあい喫茶と写真展**
会場 文化情報センター1
■ **企画防災課復興企画室**
☎82-0664
- **ふれあい屋台**
会場 文化情報センター周辺
■ **時間** 正午～午後2時
- **ラジオ関西 マルチラジオカーの展示**
会場 文化情報センター周辺
■ **時間** 正午～午後2時

災害からの佐用町の復興を支援してくださった人たちに感謝の気持ちを伝え、被災地佐用町の経験を全国に発信するため、昨年に引き続き「佐用町感謝と交流のつどい」を開催します。

- **東日本復興支援ハザード**
会場 勤労者体育センター1
■ **時間** 正午～午後2時
- **佐用高校書道部による書道パフォーマンス**
会場 勤労者体育センター1
■ **時間** 午後1時～1時30分

佐用町感謝と交流のつどい

8/21日

さよう文化情報センター

あの日、
「ありがとう」
を伝えたい



復興支援ボランティア募集

「佐用町感謝と交流のつどい」の関連事業として、東日本大震災被災地を支援するため、被災地で活動を希望するボランティアを募集します。

- ・ **日程** 8月26日(金)～28日(日)
- ・ **活動場所** 宮城県石巻市(予定)
- ・ **募集人数** 20人(応募多数の場合は抽選)
- ・ **応募資格** 町内にお住まいのかた、通学・通勤している高校生以上のかた
- ・ **参加費用** 高校生：無料 その他：5,000円

問 町社会福祉協議会 ☎78-1212

東日本大震災 被災地支援

竹炭で恩返し

竹炭1トンを宮城県石巻市へ



竹炭が入った袋をトラックに積み込む様子

一昨年の水害で、全国から届けられた15トンの炭。脱臭と除湿に効果がある炭は、浸水した建物の床下に敷き詰め、被災者に大変喜ばれました。

このたび、当時支援を呼びかけた被災地NGO協働センターと町上月竹炭生産振興会が協働し、東日本大震災で津波被害のあった宮城県石巻市へ約1トンの竹炭を送りました。

今回の竹炭作りは、東日本大震災の被災地を視察したセンター代表の村井雅清さんが東北の被災地にも炭の必要性を実感し、センターのスタッフ福岡光介さん(早瀬1)らが、6月上旬から町内の窯で焼き上げました。

炭焼きの指導を行った生産振興会会長の内海義隆さん(久崎)は、「一昨年の水害では、全国から支援してもらった。この竹炭が少しでも恩返しになれば」と期待を込めていました。

佐用町教育振興 基本計画について

①20人の策定委員を公表してほしい(利神)

回答 兵庫教育大学教授を委員長に、小・中学校代表校長と教諭、PTAや自治会、地域づくり協議会の代表、公募委員3人です。

学校規模適正化の 必要性について

①教育効果の観点

①久崎小ができてから100年以上がたち、統合で出身校がなくなるのは残念だ。宍粟市では山村留学で児童を募集している(久崎)

回答 宍粟市の山村留学の取り組みでは、児童生徒数が増えず、結果的に、宍粟市も2年前から学校規模の適正化に取り組んでいる。

声

小中学校・保育園規模適正化 校区説明会でお聴きした皆さんの

町では、6月13日から28日まで、すべての小学校区で説明会を開催し、学校・園の規模適正化推進計画(案)について町の考え方を説明し、皆さんの声をお聴きしました。

今月号では、各会場で出たご質問やご要望、それに対する町の考え方、その他様々なご意見を紹介し、規模適正化にかかる町の基本方針についてお知らせします。

なお、同じ内容のご意見は、一つにまとめて掲載しています。

②切磋琢磨が本当に良いのか(佐用)

回答 適正な人数でお互いが競い合うことのできる環境が望ましい。

③特別支援学級は、統合後も設置するのか(中安)

回答 県教委と相談して設置する。

④少人数から大人数になることへの子どもへの対応は(徳久)

回答 特に支援の必要な子どもに対しては、今もスクールアシスタントを配置している。統合後も同様に対応したい。

⑤規模適正化の問題は、少子高齢化がその根底にあるのが原因だが、町の少子化対策はどうなのか(徳久、利神、久崎、中安、三日月)

回答 少子高齢化は、佐用町だけでなく全国的な問題。近隣の宍粟市や上郡町でも同様の問題で、規模適正化を進めている。

町としても、宅地造成、町営住宅や子育て支援センターの建設、公共交通の整備や乳幼児等医療費の助成など、若者が定住し子育てしやすい環境づくりを進めている。

また、地域づくり協議会を基盤とした協働のまちづくりを推進して、みんなが住んで良かったと思えるまちづくりを進めている。今後も継続して推進していきたい。

⑥地域づくり協議会での協議を強制されても困る。町側ももっと関わるべきだ(幕山)

回答 決して地域づくり協議会だけで協議するものではない。今後、より幅広い住民が参加する懇談会、協議会などで積極的に協議していきたい。

⑦学校の規模によって、学力テストの結果に差があるのか。また子どもへの順応性は(三河)

回答 学校間でのテスト結果の比較は行っていないが、どの学校も国、県の平均点と大きな差はない。順応性は、児童数の少ない小学校から中学校に移ると最初は戸惑うがすぐに慣れていくように見受けられる。

回答 統合によって、いろんな友達との出会いから「気づき」を得られるなど、人間形成に影響を与えると考える。

②保護者のニーズの 観点

①保護者へのアンケートはいつ実施したのか。その内容は公開しているのか。

また、自治会へのアンケートは実施しないのか(利神、上月、三河)

回答 アンケートは、平成23年1月に保育園、小・中学校保護者、教員を対象に実施した。選択肢は、「積極的に推進」「止むを得ない」「現状のままで良い」の3つ。結果は、積極的に推進が14・8割、止むを得ないが57・1割であった。

また、今後は、住民の皆さんに協議いただく懇談会を設けるので、自治会へのアンケートは必要ないと考えている。

(※6月21日に町ホームページに結果を公開)

②アンケート結果では、統合を積極的に推進するが14・8割だが、止むを得ないと回答したかたも含め、それ以外のかたは、統合を望んでいない(三日月)

回答 アンケート結果は別にし、多くの住民がこのまま継続していきたいという思いがある。ただ、町としては、現状を説明し今後の方向性を示して、住民の皆さんと共にこの問題を考えていきたいと考えている。

【意見】

①利神小は平成6年に統合し、統合のメリット・デメリットをよく知っている。佐用小学校区のかたは、規模の大きい佐用小が、統合後

の佐用地域の小学校になるという思いでアンケートに賛成しているのでは(利神)

②この問題は、若い人たちが考えるべき(三日月)

③子どもたちが喜ぶ再編を考えてほしい(三日月)

③学校運営の観点

①複式学級の設置基準が2学年で14人となっているが、保護者で話し合うことによって、その基準が変わるのか(久崎)

回答 変わらない。県の基準では、14人以下であれば1年生を除き自動的に複式学級となる。

学校規模適正化に 関する基本方針について

①推進期間

①懇談会は設置するのか

(次ページへ続く)



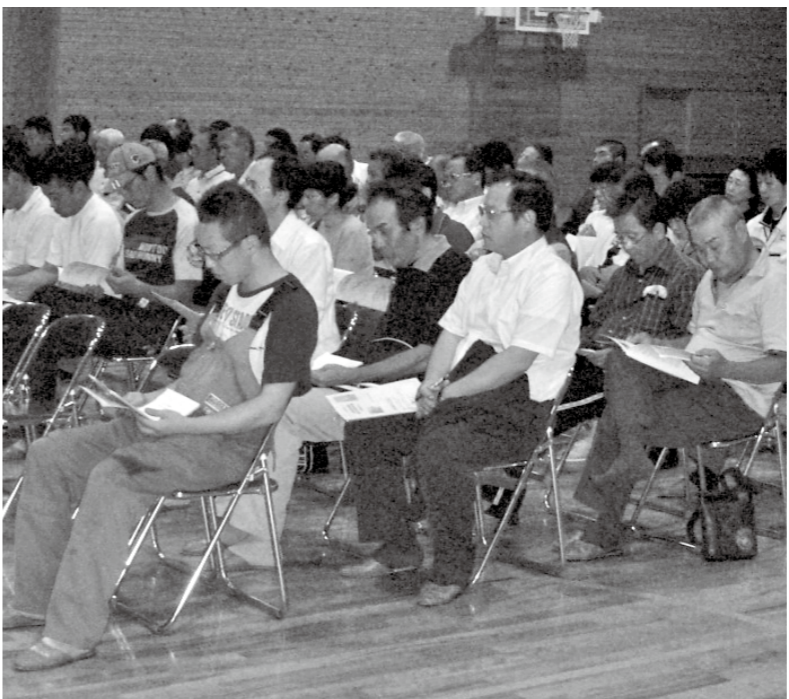
6月16日に行われた幕山小学校の説明会の様子

（幕山）
回答 今後、各校区で協議し設置する。

②町が学校統合を明確にして推進してほしい（江川）

回答 町からの押し付けととらえられるので、「規模適正化」という表現になったが、今後、住民の合意形成を大事にして進めていきたい。

③統合が本当に必要ならば、すぐに実施すればよい。



6月14日に行われた利神小学校の説明会の様子

試行的な期間を設けることはできないのか（江川）

回答 複式学級のある学校を優先に考えたいが、この説明会ではまず現状を知ってほしい。今後設置する懇談会などでより協議を深め、合意ができたところから適正化を進める。

④統合ありきの説明会なのは（中安）

回答 あくまで計画（案）を基に説明している。今後懇談会などで、具体的に協

議を進めていきたい。

2 学校規模適正化の推進に関する重点事項

①開かれた学校、地域とのかかわりを大切にするため、住民が集まりやすいように駐車場など施設面で配慮をお願いしたい（利神）

回答 懇談会で考えていきたい。また、地域づくり協議会同士の連携も視野に入れていきたい。

②統合によって、スクールバスで通学する子どもたちがいる地域では、休日に送迎できず、バレーボールやソフトボールの練習などに参加できなくなる子どもも出てくるのでは（利神）

回答 バレーボールやソフトボールの運営などは、各地域でも協議してもらいたい。

③統合によって、稲作りや餅つきなど地域のふれあいの機会が減ることが予想されるのか（幕山、久崎）

回答 平成21年度の0歳児を基準とし、予測数は平成12年から21年までの平均減少率で算出している。また、児童生徒の転入や転出は考慮していない。

②児童生徒数の根拠は、何を基にしているのか。また、転入や転出を考慮しているのか（幕山、久崎）

回答 平成21年度の0歳児を基準とし、予測数は平成12年から21年までの平均減少率で算出している。また、児童生徒の転入や転出は考慮していない。

③小・中学校適正化後の学立地案は（利神）

回答 中学校は町全体で1校。収容規模などを考慮し、佐用中学校の可能性が高い。また小学校は各地域1校ずつの計4校。場所は決定していない。

④通学方法はどのようなのか。また、通学距離の基準は小学校4キロ、中学校6キロだが、徒歩や自転車通学の距離より具体的な基準があるのか（利神）

回答 通学方法は、スクーリングやバス、さらにはサイバスや鉄道、あらゆる公共交通機関を活用したいと

れる。行政として何か手立が必要では（上月）

回答 何が必要かを、保護者も含め地域全体で考える機会を設けて検討していきたい。

④平福小の時には歩いて運動会に行っていたが、利神小になって車がないと行くことができなかった（利神）

回答 学校が近いことは良いことだが、地域のつながりとして、各旧町単位の地域に1校残す案を示している。

⑤財政が厳しいから、学校を統合するのか（三河、江川）

回答 財政面で、統合を進めているわけではない。

⑥小中一貫校で、学校を残す方法を検討できないか（三日月）

回答 小中一貫は、実施に向けてハードルが高く、また制度化されていない

め弊害も多い。

①1学年に9クラスもある大規模校出身なので、小規模校では、子どもが地域に可愛がってもらい少人数制が良かった。ただ、野球部が存続できなくなる規模では、統合は止むを得ない（三日月）

3 目標とする学校の規模

①小さい学校が大きい学校へ統合するようだが、小規模校の方が地域とのかかわりが深い。佐用地域の小学校を2校にできないか（利神）

回答 佐用地域の学校が1つになっても、大規模校にはならない。統合後にすぐに再統合することは避けたい。

②佐用地域は、他の地域よりも規模が大きいが、なぜ小学校が1校になるのか

に統合を検討せざるを得ない。長期的視点から1校が良いと考えている。

⑧三土中の統合調整はどうするのか（徳久）

回答 六栗市の教育委員会と協議して決めていきたい。

⑨三日月地域に小学校1校だが、今後子どもが減ったらどうなるのか（三日月）

回答 三日月小は、現時点では複式学級の設置が見込まれない。また各地域には小学校を1校残したい。

⑩通学に負担がかかり、家庭学習に不都合が生じる（三日月）

回答 統合後は、通学時間を50分以内を目指したい。

⑪今後、懇談会設置から全体計画・個別計画の策定・実施までの3年間で、全ての地域に複式学級ができるのでは（利神）

（次ページへ続く）

（利神）

回答 目標とする規模は、小学校で1地域に1校。適正化規模の目標児童数を120人以上としているため、少しでも適正規模に近づけたいと考えている。

③校区が広くなれば、時間的な制約で、クラブ活動ができなくなるのでは（利神）

回答 制約はあると思うが、これまでどおり工夫をしながら活動を進めたい。

④統合後、児童生徒数や学級数によって教職員定数が変わると思うが、その点はどう考えているのか（上月、中安）

回答 統合後の教職員の配置は、県の設置基準に基づいて実施するが、現在の教員数よりは減少する見込みである。

⑤〇〇小分校として、今の学校を残せないのか（中安）

回答 規模適正化は、あくまで複式学級の解消が大

きな狙い。分校では、校長や教頭など管理職が本校と兼務になり、不在などによって不都合が生じる可能性がある。

⑥今は少人数で部活種目も少ない（三日月）

回答 そうしたデメリットの解消のためにも適正化規模を推進していきたい。

①小学校で一生涯バレーボールをしても、中学校にはバレーボール部がない。統合によって部ができるならば、メリットとして話してもらえれば（利神）

4 校区再編に関する基本的な考え方

①中学校生徒数の規模を収容できる既存の学校は、佐用中学校しかないが、築年数が古いのは（利神）

回答 できるかぎり既設の学校を利用することを考

【回答】 現在、すでに複式学級を設置している校区を最優先に進めていきたい。

【回答】 ⑫佐用小、利神小、江川小が統合すると、どこが新しい小学校になるのか(利神)
【回答】 収容規模から考えれば、佐用小となる可能性が高いが、決定ではない。

【回答】 ⑬江川小と利神小が統合した場合、三日月小よりも生徒数が多くなる。江川小と利神小が統合した後に、佐用小と統合ということができないのか(利神、江川)
【回答】 町が目指す規模は、江川小と利神小が統合しても、また数年後に統合の検討が必要。佐用小と江川小、その後利神小というように段階的に進めていきたい。

【回答】 ⑭上月地域の小学校は1校になるようだが、小学校はどこになるのか(上月)
【回答】 学校の立地や収容規模から考えれば、上月小学校となる可能性が高い。

【回答】 再編によって、園児とふれあう機会が減るかもしれないが、これまでどおり様々な機会を通じて、地域での交流を深めてほしい。

【回答】 ③保育園の枠組みは、決定していると考えてよいか(中安)
【回答】 枠組みは決定していない。今後、検討していきたい。

【回答】 ④現在は、保育士を募集しても応募が少ないようだが、再編すると保育士の応募が増えるのか(三日月)
【回答】 再編と応募数の関連性はない。再編によって保育士の知識や技能が向上すると考えている。

【意見】 ①町として、保育士の育成と人材確保も考えて欲しい(久崎)

【意見】 ④統合後、使用されなくなった学校施設の利活用は(利神、中安、徳久)
【回答】 現在、施設の利活用の方針は決定していない。今後、それぞれの地域と町が協議をして決めていきたい。

【意見】 ①地域づくり協議会が発足

【意見】 ①地域づくり協議会が発足

が、決定ではない。

【回答】 ⑮上月地域の統合計画は(上月)
【回答】 幕山小、上月小、久崎小の3校を同時に統合することは難しい。例えば、幕山小と上月小、次に久崎小と上月小というように段階的に進めていきたい。

【回答】 ⑯南光地域の統合計画は。地理的には徳久小になるのか(徳久)
【回答】 学校の立地条件も含め、今後懇談会や協議会で検討する。

【意見】 ①行政が、立地も含め具体的案を示して説明してほしい(利神)

【意見】 ①行政が、立地も含め具体的案を示して説明してほしい(利神)

【意見】 ①統合の話は、町外の人から平成22年12月の神戸新聞に掲載していると聞いた。

【意見】 ①統合の話は、町外の人から平成22年12月の神戸新聞に掲載していると聞いた。

【意見】 ①統合の話は、町外の人から平成22年12月の神戸新聞に掲載していると聞いた。

【意見】 ①統合の話は、町外の人から平成22年12月の神戸新聞に掲載していると聞いた。

【意見】 ①統合の話は、町外の人から平成22年12月の神戸新聞に掲載していると聞いた。

【意見】 ①統合の話は、町外の人から平成22年12月の神戸新聞に掲載していると聞いた。

平成23年1月に実施したアンケートに回答したが、事前に中学校1校、小学校4校とは聞いていない。保護者がそれを聞いていて回答するのであれば理解できるが、今後統合の話がなくなることはないのか(利神)

【回答】 統合後の学校数が、アンケート実施前に掲載されたのは事実だが、原案は、教育上の観点も含め総合的に示したもので、今後の協議によって、統合がなくなることはないと言えない。

【回答】 ②先生たちは、学校統合をどう考えているのか(利神)
【回答】 教職員にも、地域の懇談会に参加して意見を述べてほしい。

【回答】 ③通学手段や方法を協議する機会を設けてほしい(幕山)
【回答】 懇談会や協議会などで議論する場を設ける。

【回答】 ④統合には不安も期待もある。

る。住民との十分な話し合いを踏まえてほしい。また説明会で終わりにするのでなく、幅広い地域住民を対象に十分な説明をしてほしい。(幕山、三河)

【回答】 関連性が深い地域づくり協議会でも十分な議論を深めてほしい。また、保育園や学校、地域づくり協議会などで要望があれば、説明の場を持ちたい。

【回答】 ⑤三土中について、栗栗市は佐用町よりも統合が早くないと聞いている(三河)
【回答】 栗栗市と協議しながら、同一歩調で進めていきたい。

【回答】 ①複式学級は短所ばかりなのか(江川、幕山)
【回答】 短所ばかりではないが、同学年1学級で学習することが基本的に望ましいと考える。

【回答】 ②地域に子どもの姿がなくなり寂しい思いをしている。地域の人に愛され育っていくのが大事だと思う(久崎)

②人数的には統合せざるを得ないが、文科省が示した大規模校と小規模校のメリット・デメリットは、統合ありきではと考えられる(徳久、三日月)

【回答】 適正規模を目指して統合を検討すべきだが、佐用町では統合しても小規模校にしかならない。あくまで参考として見てほしい。

【回答】 ①石井、長谷保育園が再編の対象となる可能性が高いが、具体案が提示されていない。町として具体案を示してから説明するべきで(利神)

【回答】 保育園には校区がなく、今後、保育園単位で協議の場を持ちたい。

【回答】 保育園には校区がなく、今後、保育園単位で協議の場を持ちたい。

学校・園規模適正化に関する基本方針

■推進期間

学校 平成23年度から32年度までの10年間で、「複式学級の解消」を優先に実施します

保育園 学校の規模適正化と調整を図りながら、平成23年度から29年度までの7年間で実施します

■重点事項

地域や保護者のかたの理解と協力を得ながら、長期的な視点で段階的に推進します

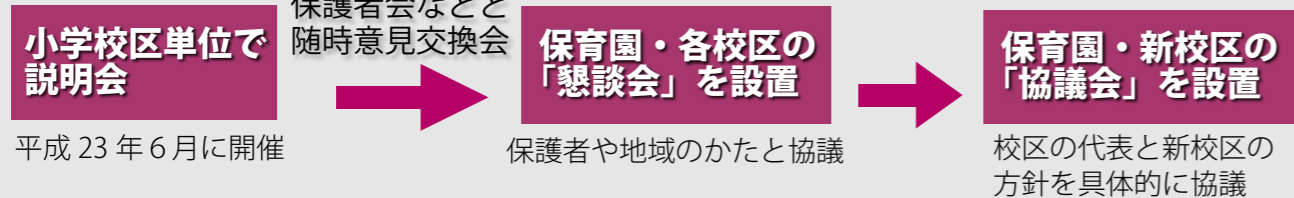
■目標とする学校・保育園の規模

学校 小学校は、1学級20～24人程度・1学校120人以上、通学距離・通学時間・地理などを考慮し、1地域に1小学校を基本とします

中学校は、1学級25～29人程度・1学年2学級以上・1学校240人以上とし、計画の最終年度である平成34年度でも適正規模にならないため、1町1校を目指します

保育園 目標とする規模は設定していません。学校の規模適正化の枠組みや保育園保護者、地域の皆さんの意見を参考にして、再編を考えていきます

■推進方法





体を使った遊びを学ぶ親子

『イクメン』を目指して

ママプラザ「父と子のふれあい講座」

7月10日、さよう子育て支援センターで、「父と子のふれあい講座」が行われました。

最近の流行語である『イクメン』に代表されるように、育児に積極的に参加するお父さんが増えています。普段子どもとふれあう時間が少ないお父さんは、子どものかかわり方などを知っておくことで、より子育てに関心を持つことができます。

この日は、生涯学習サポート兵庫の榎本英樹さんから、ストローなど身近なものや体を使った遊びを学びました。

参加した親子は、遊びを通じて父と子の絆を深めていました。



この笑顔に会いにきてください

地域のつながりの場として

「ぎやらりーほっと」で展示会

7月2、3日に平福の「ぎやらりーほっと」で手作りの小物作品展が行われました。

道路を挟んでお茶飲み処も開くこの場所は、平成19年にオープン。中野恵子さん(南新町)ら平福在住の4人の皆さんが、ひな祭りなど節目ごとに作品展を開催しています。今回は、庵造協子さん(奥金近)と梅本純世さん(奥金近)作成のネックレスやパッチワークなどの作品を展示。スタッフの皆さんは「まだ地域に眠っている作品があるはず。この場所を通じ、いろんなつながりが生まれれば」と期待を込めていました。



災害に関する講習を行う様子

集落で防災意識を高める

延吉集落

7月3日、延吉集落の集会所で、恒例のふれあい祭りが行われました。

31回目となるこの催しには、子どもから大人まで約80人が参加。カラオケ大会や抽選会などが行われ、会場は終始賑やかな声に包まれていました。

また、今年は従来の内容に加え、「災害防災意識を高めよう」と題し、防災に関わる講習会を開催。集落役員から、防災マップづくりの進捗状況や災害時要援護者の取り組みなどの講話があり、参加者の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。

新たな町の特産品として

上月ブルーベリーの村

7月17日、ふれあいの里上月内にある上月ブルーベリーの村で町内産のブルーベリーをPRするイベントが行われました。

4年前に地元農家を中心に13軒で「上月ブルーベリーの村実行委員会」を結成し、挿し木から約200本の木を育てました。来年には、摘み取り園が開園される予定です。訪れた皆さんは、ブルーベリーの摘み取り体験や抽選会などで楽しんでいました。

実行委員会の会長を務める野村真義さん(櫛田)は「町の新たな特産品として売り出し、地域活性化につなげたい」と意気込みを語っていました。



ブルーベリーを摘み取りうれしそうなお子様たち

姫新線でひまわり祭りをPR

さよう子どもアートスクール

さよう子どもアートスクールの皆さんが、JR姫新線の車両内に手作りのポスターを貼って、「南光ひまわり祭り」と姫新線の利用促進をPRしました。

18人の子どもたちが絵の具やクレヨンで描いたポスターは、7月1日から1カ月間、19車両に掲示されました。

姫新線を管轄するJR西日本姫路鉄道部長の下村富久さんは「乗客のかたも、子どもたちのポスターから元気もらったはず。これからは様々な形で姫新線の利用促進を図りたい」と力を込めて語っていました。



車両の中づりにポスターを取り付ける子どもたち

感謝の気持ちを込めて

「ゆう・あい・いしい」で10周年イベント

6月26日、上石井で地域活性化に取り組む有限会社「ゆう・あい・いしい」の設立10周年の記念行事が行われました。

今回の行事では、これまでの感謝の気持ちを込めて、餅つきや地元産の野菜販売、岡山県西粟倉村の「あわくら太鼓」が披露されました。

代表取締役を務める山下祐一さん(青木)は「これまで運営できたのも、地域をはじめ多くの皆さんのおかげ。今後はこれまでと同様、地域の憩いや生きがいづくりの場として頑張っていきたい」と話していました。



杵つき餅をつく参加者

VO. 2 「3R」って何だろう

最初のRは、ゴミの発生源を減らす Reduce (リデュース)

私たちは、便利で豊かな生活をするために、多くの資源を使って捨てています。限りある資源を大切に使うためにも、まずゴミを減らすことが必要です。ゴミを減らすためのキーワード「3R」。3Rとは、ゴミを出さないようにする REDUCE (リデュース)・繰り返し使用する REUSE (リユース)・再生して利用する RECYCLE (リサイクル) の頭文字をとったものです。

今月号では、最初のRである REDUCE (リデュース) について考えてみます。

Reduce (リデュース) ... ゴミの発生源を減らそう

ゴミの元となるものを減らせば、ゴミは減ります。出てしまったゴミを処理するよりも簡単で効果的なゴミの減量法ですので、3Rの一番最初に並べられています。

ゴミを減らすためには、必要なものを必要な量だけ買ったり、使い捨て商品はできるだけ使わないなど生活スタイル全般を見直す必要があります。

■ご家庭でできること

- ・量り、バラ売りの商品を選ぶ
- ・余計なものは買わない
- ・マイバックを使う
- ・簡易包装の商品を選ぶ
- ・詰め替え商品を選ぶ



問 住民課 環境衛生対策室 ☎ 82-0660

このような状況を目の当たりにし、エネルギー不足に苦しむ被災地及び周辺地域の状況を知り、いかに私たちの普通の生活が満たされているのか、そして省エネルギー・資源の節約がいかに重要であるかを再認識しました。

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔からのことわざがあります。今年も3月を迎えやっとならぬ寒さから抜けられないのではないかと思っていた矢先の3月11日、大震災が東日本を襲いました。猛烈な揺れと、さらに追い討ちをかけるような巨大な津波が人々を襲い、生活基盤を根底から奪い去りました。数多くのかたが犠牲となり、かろうじて難を逃れたかたも不自由な避難所での生活を強いられています。

エコ対策はわが家から

問 住民課 環境衛生対策室 ☎ 82-0660

エコや省エネの言葉が氾濫していますが、私たちの目の前を素通りするだけで切実に感じていただろうかと反省するばかりです。まずは初心に戻り、自分たちの家族から見直してみてもどうでしょうか。車に乗る人はガソリン、家事をする人は、電気・ガス・水道などをいかに効率的に使えるかを検討し、子供たちには自分の部屋の電気の無駄はないか自分で管理する責任を持たせるなどエコに対する自覚をお互いに再確認することが必要ではないでしょうか。

※このシリーズは、町地球温暖化防止活動推進協議会の皆さんが交代で寄稿しています。

エコ対策はわが家から

1

割お得な商品券

町民の暮らし応援券

販売期間は **9月3日(土)・4日(日)**
完売になり次第、販売を終了します

町では、昨年に引き続き、町商工会と協力し、町内の取扱店で使える期間限定のお得な商品券を発行します。この商品券は、経済の急激な悪化に対し、地域経済の活性化と町民皆さんの暮らしを応援し、一昨年からの復興を目的としています。買い控えしていた商品の購入など、ぜひ本券を活用いただき、地域経済の活性化にご協力ください。

1セット1万円で
1万1千円分の商品券に
「町民の暮らし応援券」は、千円券が11枚で1セット。1万1千円分の商品券を1万円で販売します。発行総額は、2万セットで2億2千万円です。

町民のみなさん限定のお得な商品券です

購入ができるのは、中学生までの子どもを除く町民のみなさんです。

**お一人3セットまで
1回限り購入可能**

お一人が購入できるセット数は3セットまで。購入回数も1回と限定します。また、1枚ごとのバラ売りはできません。

販売期間は9月3日(土)・4日(日) 町内4か所の販売所で

本券の販売は、9月3日(土)・4日(日)で、町内4地域に設置する特設販売所で販売します。

販売所

佐用地域 さよう文化情報センター
上月地域 上月支所
南光地域 南光支所
三日月地域 三日月支所

問 商工観光課 商工振興室 ☎ 82-0670

※期間中の購入場所は、皆さんが住所を置く地域の販売所に限ります。

9月5日(月)～30日(金)は、皆さんが住所を置く地域の商工会各支所で購入できます。なお、それ以降商品券が残った場合は、町商工会で規制なしで完売まで販売します。

**購入は本人に限り
平成23年12月末まで取扱店で使用できます**

本券は特設販売所で、購入申込書と現金と引き換えに販売します。購入申込書は、使用できる取扱店を記載した事前チラシと同時に、全世帯に配布します。

また、購入は本人に限りますが、どうしても販売所にお越しになれないかたは、代理のかたが購入することができます。

なお、本券が使用できる期間は、9月3日(土)から12月31日(日)まで。また本券は、商工会が指定した取扱店で使用できます。

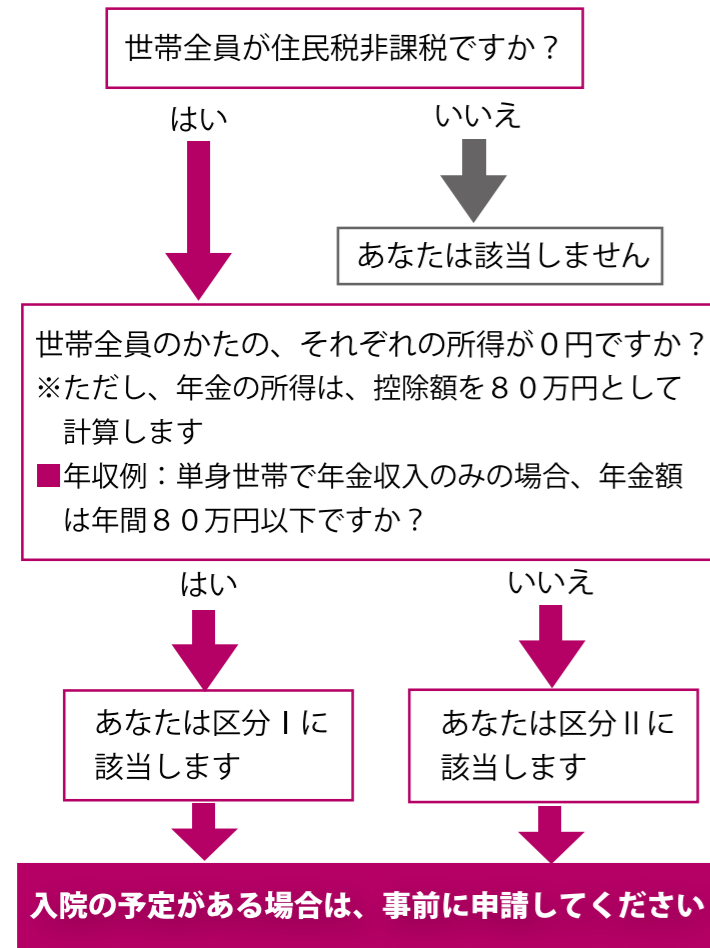


ご存じですか

「限度額適用・標準負担額減額認定証」

住民税非課税世帯のかたは、入院時の一部負担金と食事代が減額されます

別表



世帯全員が町県民税非課税に該当されるかたは、入院したときに窓口で支払う一部負担金と、入院時の食事代が減額されます。該当するかたは、必ず入院する前に申請をお願いします。申請されると「限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

申請された月の初日から適用になりますので、別表の区分Ⅱに該当するかたは、さらに食事代が

■過去1年以内合計90日以上入院されている場合、それを証明できるもの（領収書等）をお持ちください。

※長期入院該当となり、別表の区分Ⅱに該当するかたは、さらに食事代が

■証の発行をせずに、既に食事代等を支払ってしまった場合は、領収書・認印・還付先口座の番号がわかるものをお持ちいただき、住民課又は各支所へ償還払いの申請を行ってください（時効は2年です）。

問 住民課年金・保険室
☎82・0660

65歳以上の皆さんへ

西播磨 レインボーカードで 施設入場料が無料

利用期間は9月1日～30日
利用希望のかたは町へ申請してください

65歳以上のかたを対象に、公共施設への入場が無料になる「西播磨レインボーカード」を配布します。

利用期間は、9月1日（金）～30日（金）まで。カードを希望されるかたは、社会福祉推進室、または各支所へ申請してください。

■利用対象施設 姫路城、姫路市立動物園、美術館、科学館、平和資料館、好古園、うすくち龍野醤油資料館、赤穂市立歴史博物館、太子町立歴史博物館、柳田國男記念館など、西播磨の22施設で使えます。



「佐用町」のために、ご協力ください

ふるさと佐用応援寄附金

町では、平成20年から「佐用町ふるさと応援基金条例」を制定し、ふるさと佐用町へまちづくりへの寄附金を全国から広く募っています。

佐用町へ思いを持つ全国の皆さんへ本制度を広め、本町のまちづくりにご支援いただくようご協力ください。

寄附金の使い道

お寄せいただいた寄附金の使い道は、右の①～③から選んでいただけます。特に指定されない場合は、目的達成のために町長が必要と認める事業に充当いたします。

■寄附金は5,000円が1口ですが、5,000円以下でも可能です。

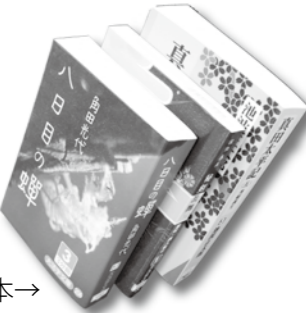
■2,000円を超える寄附をいただいたかたは、確定申告で寄附金控除が受けられます。

■1口以上の寄附をいただいたかたには、本町の特産品を進呈します。ただし、平成24年1月からは2口以上となります。

平成22年度
寄付金を活用した事業

- ・昆虫館備品購入
- ・図書館図書購入

寄付金の一部で購入した大活字本→



①ひとづくり事業（みんなで支え合い、助け合う）

子育て支援の充実や生涯学習の推進、学校教育の充実、青少年育成など

②まちづくり事業

（いきいきと暮らせるふるさとに）

保健・医療の充実、高齢者福祉の充実や地域福祉活動、観光振興、雇用対策、起業支援など

③自然環境づくり

（ふるさと景観や歴史を伝える）

棚田や清流「千種川」の保全、花いっぱい運動の推進、歴史的環境の保全、環境保全の推進、文化財の保存など

企画防災課 復興企画室 ☎82-0664

暑い夏が
やってきた

納涼夏祭り



開催日	名称	場所や内容など
8月7日⑩	石井地区納涼祭	・石井体育館周辺 午後6時～ ・夜店、お楽しみ抽選など
8月14日⑩	平福夏祭り	・模擬店 (午後6時30分～午後9時/智頭急行『平福駅』前) ・花火大会(午後7時30分～/約200発)
	長谷地域ふるさと祭り	・ふれあい長谷グラウンド 午後7時～ ・足半踊り、夜店、お楽しみ抽選など
8月15日⑩	海内地区納涼ふるさと祭り	・みうち若杉館グラウンド 午後7時～ ・夜店、お楽しみ抽選など
	佐用ふるさと納涼夏祭り	・夜店(午後5時30分～午後10時 歩行者天国/佐用商店街) ・漫才とパフォーマンスショー (笑い飯、ダイアンほか 午後6時30分～/役場前) ・アンパンマンショー (①午後6時10分 ②午後8時/中町交差点付近)
8月23日⑩	田此日限地蔵尊夏祭り	・夜店(午後5時～歩行者天国/田此商店街) ・漫才とパフォーマンスショー (プラスマイナス、かまいたちほか 午後7時～/日限地蔵尊境内) ・ミニSL(午後6時～/田此ふれあい広場) ・花火大会(午後8時30分～午後9時/約500発)



第33回佐用町卓球大会

- 開催日 6月19日㊥
- 場所 上月体育館
- 一般男子シングルス (敬称略)
 - 優勝 大谷隆太 (SC21 三河)
 - 準優勝 北野広大 (SC21 三河)
 - 第3位 小寺康正 (佐用高校)
 - 第3位 松阪 純 (SC21 三河)
- 一般女子シングルス
 - 優勝 井上愛夢美 (SC21 三河)
 - 準優勝 山根千奈 (佐用高校)
 - 第3位 真島利奈 (佐用高校)
 - 第3位 高本香菜 (佐用高校)
- 中学男子シングルス
 - 優勝 春井 雅 (上津中)
 - 準優勝 藤林竜之介 (三土中)
 - 第3位 藤田祐輝 (三土中)
 - 第3位 森嶋大地 (三土中)
- 中学女子シングルス
 - 優勝 保田理恵 (SC21 三河)
 - 準優勝 藤本樹里 (SC21 三河)
 - 第3位 春名芳香 (SC21 三河)
 - 第3位 中森恵里佳 (SC21 三河)
- 小学生シングルス
 - 優勝 井上花恋 (SC21 三河)
 - 準優勝 石丸紘希 (SC21 三河)
 - 第3位 井戸里緒菜 (SC21 三河)

男子ダブルス

- 優勝 増田千恵・小寺康正 (県教委・佐用高校)
- 準優勝 福原将人・野中 駿 (SC21 三河)
- 第3位 志水雅俊・北野広大 (SC21 三河)
- 第3位 春名佑紀・春名 駿 (SC21 三河)

女子ダブルス

- 優勝 井上愛夢美・竹野香菜 (SC21 三河)
- 準優勝 木村郁絵・佐藤愛理 (佐用高校)
- 第3位 牛丸瑛礼奈・高本香菜 (佐用高校)
- 第3位 安東夏都美・大谷真由 (SC21 三河)

がんばったみんなに

スポーツひろば

第3回佐用町ペタンク大会

- 開催日 6月25日㊥
- 場所 上月グラウンド
- Aブロック優勝 長谷A
- Bブロック優勝 漆野A
- Cブロック優勝 長谷C
- Dブロック優勝 ほほえみ円光寺
- Eブロック優勝 大木谷N o 2
- Fブロック優勝 上秋里
- Gブロック優勝 中上月
- Hブロック優勝 青木E
- Iブロック優勝 平福C
- Jブロック優勝 平福D



第6回議長杯親善ゲートボール大会

- 開催日 6月18日㊥
- 場所 南光ひまわりドーム
- 優勝 平谷
- 準優勝 田此
- 第3位 杉坂・福吉

おめでとうございます

西播磨地区体育指導委員功労賞
桑田隆男さんが受賞

このほど、桑田隆男さん(田此)が西播磨地区体育指導委員功労賞を受賞しました。

桑田さんは、平成14年から体育指導委員として、社会体育の普及とその指導に尽力され、その功績が高く評価されました。



平成22年度の人権標語
「あなたには たよれる家族が そばにいる」

8月は佐用町人権推進月間

募集します 人権標語

- 今年も人権標語を募集します。テーマは自由です。温かい気持ちになれる標語をお待ちしております。
- 応募方法 標語、住所、名前、年齢、電話番号を用紙に記入して、応募(持参、郵送、FAX、Eメール)してください。
- 応募締切 9月8日㊥
- 選考 選考委員会で5点程度の入賞作品を選考し、表彰など 入賞作品は、10月22日㊥に開催の「人権まちづくりフェスタさよう2011」で表彰し、記念品を贈ります。また、啓発資料などに使用します。
- お問い合わせ・応募先
〒679-15301 佐用町佐用2585 生涯学習課(月曜休館)
☎82-3336
FAX 82-0313
online@town.sayo.t.jp
各支所でも受け付けます。

- ### 加入者の皆さんへ 建物共済加入の要件を変更
- 短期共済として気軽に加入でき、少ない掛金負担で補償が充実した建物共済ですが、4月以降は加入要件に該当する農家だけが引受対象となりました。
- 加入要件に満たない場合は、引受ができない場合がありますので、次の要件を確認してご不明な点があり
- ① 転作などを含めて水田を10㍎以上所有、または管理している
 - ② 水稲または麦を10㍎以上栽培している
 - ③ 大豆を5㍎以上栽培している
 - ④ 牛などを養育する業務を営んでいる
 - ⑤ ガラス室を1㍎以上、パイプハウスなどを2㍎以上を利用して農作物や花を栽培している
 - ⑥ 農事組合法人である
 - ⑦ 集落営農組織の構成員である
- 問 農林振興課農業共済推進室
☎82-0667

家屋解体、新・増築する場合は連絡を 家屋評価にご協力を

未登記家屋の新・増築や取り壊しや、所有権移転をされた場合、それを把握することは困難です。課税漏れや誤って課税する恐れがありますので、必ずご連絡ください。

また、平成23年中に新・増築された家屋については、9月から12月にかけて家屋評価を行いますのでご協力をお願いします。早期に評価を希望の場合は、ご連絡ください。すでに登記が完了されたかた、または建築確認申請書を提出されたかたは、連絡は不要です。



問 税務課 町税対策室 ☎82-0662

「もえるゴミ」は 町指定のごみ袋を

「もえるごみ」を出すときは、必ず「もえるごみ指定袋」を使用してください。紙袋や市販のビニール袋では、出せませんので気をつけてください。

また、集積場へ出すときには、袋の口を縦横左右ともに十字にしっかりと結んでから出してください。

缶やビンの中身を出してから

缶やビンの中身が入ったまま出されるとリサイクルができません。必ず中身は空にし、すすいでから出してください。

問 佐用クリーンセンター ☎82-0293

新着図書案内

2011.6.18 ~ 2011.7.17 受け入れ分の一部



●大人向けの本

40代を後悔しない50のリスト

— 一万人の失敗談からわかった人生の法則
大塚寿 / 著 ダイヤモンド社

親鸞 津本陽 / 著 角川書店

季節を楽しむおでかけガイド関西の12カ月
ペンハウス / 著 メイツ出版

親子で行けるおいしい工場見学!

— おなじみの人気食品や飲み物などの工場へGO!
キョーハンブックス

日本の1/2革命 池上彰 / 著 集英社

10代の子をもつ親が知っておきたいこと
— 思春期の心と向きあう
水島広子 / 著 紀伊国屋書店

つらい腰痛・膝痛が楽になる
— 骨・関節・椎間板を守る口コモ対策
中村耕三 / 著 大和書房

おいしい野菜の食べ合わせ便利帳
白鳥早奈英 / 著 海竜社

しあわせ節電 鈴木孝夫 / 著 文芸春秋

筆ペンのお礼状 — すぐに役立つ手紙・はがき
西村翠晃 / 著 日貿出版社

55歳からはお尻を鍛えれば長生きできる
武内正典 / 著 講談社

朗朗介護 米沢富美子 / 著 朝日新聞出版
ご主人、『立ち会う』なんて、そんな生やさしいものじゃありませんよ。
— 自宅出産・助産所出産ドキュメント
横松心平 / 著 柏艸舎

▲白樺の樹の下で 青山文平 / 著 文芸春秋

★黄金坂ハーフウェイズ 加藤実秋 / 著 角川書店

■ひやかし 中島要 / 著 光文社

■母のはなし 群ようこ / 著 集英社

▲彷徨(さまよう)警官 森 詠 / 著 毎日新聞社
棟居刑事の代行人 (ジ・エージェント)
森村誠一 / 著 中央公論新社

★死ぬ気まんまん 佐野洋子 / 著 光文社

質素な性格 — 欲は小さく野菊のごとく
吉行和子 / 著 講談社

春嵐 ロバート・B. パーカー / 著 早川書房

●子ども向けの本

電気がいちばんわかる本 1~5
米村でんじろう / 監修 ポプラ社

もりのおばけ
かたやまけん / さく・え 福音館書店

南総里見八犬伝 1~4
滝沢馬琴 / 原作 偕成社

▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

すべての町民のくらしを応援します

としょかん だより

佐用町立図書館

佐用町佐用 2585 TEL 82-0874(おはなし) FAX 82-0313
図書館 HP <http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp>
E-mail toshokan@town.sayo.lg.jp

「夏休み学習室」のお知らせ

図書館には、自主学習用の机や椅子がありません。そのため、夏休みの期間中、自由研究や自主学習のための学習室を開設します。ご利用ください。

■日時 8月31日(※)まで
※閉室日 毎週月曜日、7月21日、27日、8月2日、18日、28日

■場所 さよう文化情報センター

「郷土資料」提供のお願い

図書館では、町内の歴史文化、できごとなどに関する本や資料、また町内在住者・出身者の著作物を「郷土資料」として集めています。このような資料がありましたらご寄贈ください。よろしくお願いいたします。

上月文化会館改修工事のため上月図書室を休館します

上月文化会館のトイレ改修工事に伴い、上月図書室を7月28日(※)から10月31日(※)まで休館します。利用者のかたにはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

夏のおりがみ教室

■日時 8月20日(土) 午後3時~3時30分

■場所 さよう文化情報センター

■対象 3歳以上の子ども (保護者の参加可)

■内容 「せみとあさがお」

8月 August 葉月							9月 September 長月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	日	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31				28	29	30	31			

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時~午後6時

おはなし会(5歳以上)

■日時 毎週日曜日 午後2時~午後2時30分

■場所 図書館おはなしコーナー

■8月のおはなし 「カメのこうらは、ひびだらけ」

「としょかんボランティアあそびせ隊」のおはなし会

■日時 毎週土曜日 午後2時~午後2時30分

■場所 図書館おはなしコーナー

■対象 幼児・小学生

■申し込み 不要

ママプラザだより

子どもを育てる親子遊び

子どもとの関わりを楽しむ方法として、親子遊びがあります。親子が一緒に楽しい時間を過ごすことで、親子関係が良くなり、子どもの心と体をバランスよく育てることができます。遊びには、特別なルールがありません。例えば親子バス。ひざの上に子どもを乗せてドライブに出発。ポイント「子どもと一緒に楽しむこと」です。後ろからお腹を抱えてシートベルト、急カーブやでこぼこ道、途中でお店に寄ったり…。子どもと一緒に遊びを作りながら、大人が上手に関わることで、子どもは遊びの楽しさ、何倍も楽しいものになりますよ。大人が本気で子どもの視線で遊びに関わることで、今まで気づけなかった子どもの感性や才能を発見できるかもしれませんね。

サマーサンタの開催

■とき 8月21日(土) 10:00~

■ところ さよう子育て支援センター

■対象 乳幼児とその家族

★楽しい出店がいっぱい! サンタさんからのプレゼントもあるよ。

- キラキラっ子ママプラザ ☎82・4108
- ビスラっ子ママプラザ ☎86・1153
- ひまわりっ子ママプラザ ☎78・0264
- みかづきっ子ママプラザ ☎79・3788

地域包括支援センター通信

災害時の備えについて

3月に発生した東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞い申しあげます。佐用町も一昨年の水害から2年がたちますが、改めて自然災害の恐ろしさを感じました。今回は、災害時の備えについて確認したいと思えます。

3月に発生した東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞い申しあげます。佐用町も一昨年の水害から2年がたちますが、改めて自然災害の恐ろしさを感じました。今回は、災害時の備えについて確認したいと思えます。

災害時に必要なもの (枕元に置いておくもの)

- ・懐中電灯
- ・笛など大きな音の出る物
- ・靴やスリッパ
- ・リュック (水・薬3回分・タオル・ロープ・ラジオ・下着・靴下など)

避難場所

足腰に不安があるかたは、災害時に避難所まで歩いて避難する場合があります。2階建て以上の家や高台にある家など、隣近所に一時避難できる場所を確保し、災害時に備えましょう。

地域包括支援センター

(健康福祉課健康増進室) ☎87・8020

行事カレンダー

- **デイ・ケア** (精神障がい者社会復帰訓練事業)
 - 8月10日㊦
 - 8月25日㊦
 - 9月14日㊦
 - 午後1時30分～午後3時30分
- **こころのケア相談** (要予約)
 - 8月23日㊦
 - 午前10時～午後3時
 - ※場所は佐用町保健センター
- 問 **健康福祉課 健康増進室** ☎87-8020
- **こころのケア相談日** (要予約)
 - 8月19日㊦
 - 午後1時～午後3時
- **若者の心と体の相談** (要予約)
 - 8月19日㊦
 - 午後1時～午後3時
 - ※場所は龍野健康福祉事務所
- 問 **龍野健康福祉事務所**
 - ☎0791(63)5142

赤ちゃんとお母さんの行事

- ★ **1歳6か月児健診**
 - (平成21年12月～平成22年1月生まれ)
 - 8月16日㊦ 午後1時～
 - ★ **ヨチヨチ健康相談** (平成21年8月生まれ)
 - 8月19日㊦ 午後1時30分～
 - ★ **4か月児健診** (平成23年4月生まれ)
 - 8月22日㊦ 午後1時30分～
 - ★ **すくすく健康相談離乳食教室**
 - (平成23年1月生まれ)
 - 8月11日㊦ 午前10時～
 - (平成23年2月生まれ)
 - 8月11日㊦ 午前10時～
 - ★ **0歳児クラス** (2か月～1歳未満)
 - 9月5日㊦
 - 2か月～6か月児 午前10時30分～正午
 - 7か月～1歳未満児 午前10時～午前11時30分
 - ★ **すてきなママになるための教室** (妊婦)
 - 9月5日㊦ 午前10時～
- いずれも場所はさよう子育て支援センター

献血のお願い

8月9日㊦

- **日時** 午前9時30分～正午
- **場所** J A兵庫西南光支店
- **日時** 午後0時30分～午後1時30分
- **場所** センターひまわり
- **日時** 午後2時30分～午後3時30分
- **場所** 尾崎病院

問 **健康福祉課 (町保健センター)** ☎82-2079

現況届・所得状況届の届け出を忘れずに
児童扶養手当・特別児童扶養手当

児童扶養手当受給者資格者は、「現況届」、特別児童扶養手当受給者資格者は、「所得状況届」を毎年8月に提出することになっています。期間中に届出の提出がないと、手当が差し止められることがありますので、必ず提出してください。

問 **健康福祉課 社会福祉推進室** ☎82-0661

心肺蘇生法・AED・止血法を身につける

「まちかど救命士」養成講習

受講者募集

消防署では、1人でも多くの方が応急手当を身につけ、「まちかど救命士」として活躍していただけるよう、次のとおり講習会を実施します。

- **日時** 9月9日㊦
 - 午後1時30分～午後4時30分
- **場所** 町コミュニティ防災センター
- **内容** 心肺蘇生法、AED、止血法
- **受講料** 無料
- **募集人数** 30名 (定員になり次第締切)
- **募集期間** 8月1日㊦～31日㊦

問 **消防署 救急救助課** ☎82-3872

健康

お子さんは何時に寝ていますか

■ 夜ふかしの子どもが増えています

国の調査結果では、2歳半の88%の子どもが、午後9時以降に就寝していました。佐用町でも、子どもの就寝時間が遅くなっている傾向が見受けられます。保護者の皆さんが意識して寝かせなければ、子どもは寝ません。

■ 1歳から5歳までに、大量に分泌されるメラトニン

メラトニンは寝つきをよくし、思春期前の性成熟を抑えたり、身体のさび止め作用があったりする大切なホルモンです。しかし、夜になっても、明るい環境ではメラトニンは出にくいといわれています。赤ちゃんは、光を感じて育つうちに、昼間起きて夜眠るリズムを身につけていくので、新生児の頃から昼間は明るく、夜は暗くしましょう。

■ 成長ホルモンの分泌

成長ホルモンは、筋肉や骨を増やす、成長に不可欠なホルモンです。成長ホルモンの分泌のピークは、午後10時～午前2時の間です。この時間に熟睡していることが必要なので、早く寝ることが大切です。

■ こころと身体を安定させる睡眠

睡眠に問題があると、朝起きられない・攻撃的になる・日中ぼんやりしてしまうなどの生活面での問題が起こります。睡眠のリズムを整えることで、行動のコントロールもでき落ち着いて生活ができるようになります。ただ睡眠障害などの治療が必要な場合もあります。環境を整えても睡眠リズムがつきにくい時は、一度専門機関に相談してください。

小さい時からよい睡眠リズムを身につけて、こころも身体も健やかに過ごしましょう。

食育

—保育園食育事業実施中—

早寝・早起き・朝ごはんで元気な子

町では、食育事業の一環で、6月から町内全保育園年長児と保護者を対象に親子クッキング教室を行っています。

教室では、町管理栄養士から「はやね・早起き・朝ごはん」をテーマにした講話があり、子どもにとって早く眠ることの大切さや、子供の成長のために必要な朝ごはんや栄養のバランスのとれた献立作り、食事のマナーについて学びました。

朝ごはんを食べるためには、朝早く起きなければなりません。また、早く起きるためには、早く寝ることが大切です。睡眠をしっかりとると機嫌よく起きることができます。お腹も減っているので、朝ごはんをしっかりと食べることができます。「はやね」は、食生活のリズムを整えるためにもとても大切です。

講話の後は、いずみ会会員の指導により、親子で料理をしました。ちりめんじゃこや海苔、スキムミルクや桜エビ、ゴマを使ったおにぎり、豆腐入りハンバーグ、青梗菜のおひたし、減塩味噌汁など栄養たっぷりの献立。初めて包丁を持つ子どもたちは、涙をポロポロと流しながら、玉ねぎやネギを切ったり、小さな手でハンバーグを一生懸命こねたりしていました。

安全で安心な地元産の野菜を使った献立に、参加した親子は「薄味でおいしいね」「家でも作ってみようね」と話し合っていました。



親子で料理をする様子

くらしの情報 Information

今月の納税

町県民税 (普通徴収) 第2期分

納期限 **8月31日 水**

口座振替日は8月31日(水)です
納税は納期限までに!

今月の納税相談日 **8月25日 金**

■受付時間
午前8時30分～午後5時
■受付場所 役場本庁税務課
災害・盗難・疾病・失業
や廃業などで納期限までに
町税が納められない場合は、
納税相談に応じます。

問 税務課 収納管理室
☎82-0662

国民健康保険税(普通徴収)・
介護保険料(普通徴収)・
後期高齢者医療保険料
(普通徴収) 第2期分

納期限 **8月31日 水**

問 住民課 年金・保険室
☎82-0660

放送大学 10月生募集

放送大学では、平成23年度第2学期(10月入学)の

学生を募集しています。
放送大学は、テレビなどの放送を利用して授業を行う通信制の大学です。

心理学、福祉、経済、歴史、文学、自然科学など、幅広い世代、職業のかたが学んでいます。

■出願期間
8月31日(水)まで
問 放送大学兵庫学習センター
☎078(805)0067

県警察官 採用試験案内

■受付期間
8月26日(金)まで
■試験日 9月18日(日)
■一般選考
①【男性140人】
S51.4.2以降生まれで、4年制大学既卒のかた、またはH24.3までに卒業見込みのかた。
②【男性80人・女性5人】
S51.4.2～H6.4.1生まれで①以外のかた(H24.3までに高等学校卒業見込みのかたを除く)。

■特別選考
【武道①・②あわせて4人】
① S62.4.2以降生まれで、4年生大学既卒のかた、またはH24.3までに卒業見込みのかた。
② S62.4.2～H6.4.1生まれで①以外のかた(H24.3までに高等学校卒業見込みのかたを除く)。

■採用時期
来年4月上旬以降
■その他
武道区分は専門の資格など

が必要です。
問 佐用警察署
☎82-0110

統計調査員候補者募集

各種統計調査を行う統計調査員として登録を希望するかたを募集しています。

■主な業務
調査対象を把握し、調査票の配布、回収、また点検、整理を行います

■身分、待遇など
調査員は、調査のたびに任命される非常勤公務員です。活動中の災害は、公務災害として補償され、活動に応じて報酬を支払います

■登録要件
・税務、警察、選挙事務に直接関係のないかた
・原則20歳以上のかたなど

■登録方法
総務課広報室に申込書で申してください

問 総務課 広報室
☎82-2549

2011 光都映画祭

入場無料です。15日(日)は休館日です。

■期間 8月13日(土)～21日(日)
■場所 光都プラザ・オプトピアシアター

■放映内容
「シュレック フォーエバー」
「ハローキティ」など
※予告なく変更される場合があります。
上映時間はお問い合わせく

ください。
問 企業庁播磨科学公園都市
まちづくり事務所
☎0791(58)1115

第65回 「医療・生活」相談会

今回は、パーキンソン病など難病の相談会を開催します。

■日時 9月11日(日)
午後1時～午後4時
■場所 市川町文化センター
■お問い合わせ・申し込み
龍野健康福祉事務所
☎0791(63)5686

水難事故にご注意

夏は、海や川、池などで子どもの水難事故が多発します。事故が起こらないように、次のことに注意してください。
●子どもだけで海や川へ遊びに行かないようにしましょう。
●危ないと思ったら、相手に一声かけるようにしましょう

地域の危険な場所を見つげられた場合や、水難事故が発生した場合は、佐用警察署または「110番通報」をお願いします。

問 佐用警察署
☎82-0110

町農業共済損害評価会 26人の委員を委嘱

被害耕地の調査や評価の審議をする26人の委員を委嘱しました。任期は、平成26年3月31日までです。
なお、会長、副会長は次の

とおりです。
会長 西本富男(船越)
副会長 山根好文(延吉)
副会長 寺本義弘(早瀬1)
副会長 井関忠志(広山)
問 農林振興課 農業共済推進室
☎82-0667

人のうごき

7月15日現在()内は前月比

人口 19,828人(△17)
男 9,493人(△6)
女 10,335人(△11)
世帯数 7,221戸(1)

7月中の移動
出生12人 死亡23人
転入31人 転出37人

お誕生おめでとう

6月16日から7月15日届出分 敬称略

個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます
6月16日から7月15日届出分 敬称略

個人情報のため非公開

佐用チャンネル
放送更新日
8月12日(金)
26日(金)

ちょうみんカレンダー

8月上旬～9月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
8/4	木	高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～
9	火	平成21年台風第9号災害 佐用町追悼式	さよう文化情報センター	10:30～
16	火	高年大学三日月教室	三日月文化センター	10:00～
		高年大学上月教室	幕山地区センター	10:00～
			町保健センター	
17	水	行政相談	上月支所	13:00～15:00
			南光文化センター	
			三日月文化センター	9:00～11:00
18	木	高年大学佐用教室	さよう文化情報センター	10:00～

佐用町の誇り

三日月のムクノキの古木



三日月にまつわる古い話。

「立ちかえり こえゆく関と おもはばや
みやこに ききし あふ坂の山」

この歌は、承久の乱によって隠岐へ流される後鳥羽上皇が相坂を越えて今の三日月に入り休息をとるときに、「逢阪というのは東路でなくてもあるのか」とよんだ歌です。このときに弓をかけた木が、今に残る「弓の木」であると地元には伝わっています。

相坂の歌の話は南北朝時代ころの作といわれる「増鏡」に載っていますが、弓の木の話はそれより後の江戸時代以降の書籍に載っています。そのうち「播磨鏡」には天皇の弓をかけたとあり、「万陽万宝知恵袋」では後醍醐天皇の弓をかけたとあるなどややあいまいな記載で、後鳥羽上皇と記載しているのは大正時代の「佐用郡誌」などからです。

今となっては、話の真偽やどちらの話だったかなどは定かではありませんが、この地は古代から近世にかけての美作道・因幡道筋として古くから開けていたと考えられており、貴人から一般の人々まで数多くの人々が往来したであろうこの地にふさわしい伝承かもしれません。

なお、後醍醐天皇も隠岐に流されるときに三日月に立ち寄り、先の後鳥羽上皇を偲んで、

「つたへ聞く 昔かたりぞ うかりける
そのへふりぬる 三日月の杜」

とよんでいます。

この「三日月のムクノキの古木」（通称「弓の木」）は、推定樹齢600年という長命を誇りながら樹勢はいまだ旺盛であり、また町の歴史を彩る伝承も持つことなどから、昭和61年3月に県指定の天然記念物に指定されています。

（参考文献：「佐用郡誌」「三日月町史」ほか）

問 教育委員会 ☎ 82-2424



わが家のアイドル

木南 颯太ちゃん

いつもみんなを笑顔にしてくれるあなたは、みんなの宝物です。

ひまわりのような笑顔をずっと見せてくださいね。

10人以上のグループで
ご応募ください

JR姫新線の往復切符を
支給します

予算範囲内で

先着順の支給です



町は姫路市やたつの市と連携し、年間乗車数300万人を目指して、利用促進に関する様々な事業を展開しています。

このたび、さらなる利用促進のために、町内に在住、在勤、在学のかたが10人以上のグループでJR姫新線を利用する場合、先着順に上月～姫路駅間の往復切符を支給します。予算に限りがありますので、お早めに応募ください。この機会に、ぜひ姫新線を利用してください。

対象

町内にお住まいのかた、お勤めのかた、町内の学校に通っているかたで、10人以上が同時に利用する場合（※ただし、お一人様1回限り）

目的

- ①参加者の親睦を図ること
- ②他団体との交流を目的とすること
- ③沿線の社会学習施設、公共施設などで行う見学、体験
- ④地域活動、文化活動、スポーツ振興などを促進すること

※いずれも平成23年12月までに利用が必要

応募方法

利用したい日の20日前までに、企画防災課復興企画室にある申込書で応募ください。応募締め切りは9月30日(金)です。ただし、予算範囲内とし先着順の支給となります。

問 企画防災課 復興企画室 ☎ 82-0664

編集後記

◆一昨年の水害から今年で2年。千種川水系の河川改修工事などによって、町並みが少しずつ変わり始めています。一方、奥海集落で取り組まれている復興支援活動（表紙参照）をはじめ、あの日から変わらず続く温かい支援によって、佐用町は今日まで復旧・復興してきました。◆3月に発生した東日本大震災。発生直後から多くの町民のかたが、2年前の恩返しにと同様々々な支援活動を展開。その支援が多くの被災者を勇気づけています。◆被災地だからこそわかるつらさや痛み、そして感謝の気持ち。復興への歩みを止めないように、今一度決意を新たに、支援してください。感謝を伝えたいと思います。